

みんなので止めよう 温暖化

今年、京都議定書第一約束期間のスタートです!!

深刻な問題となっている地球温暖化。この解決のために、世界各国が協力して作った京都議定書での、温室効果ガス排出量削減の約束期間がスタートしました。

温暖化防止は決して難しいことではありません。一人ひとりが身近にできることから取り組んでいきましょう。

地球温暖化

近年、世界各地でさまざまな気候の変化によってもたらされた自然災害が多く発生しています。国内でも「記録的」「観測史上初」などの言葉をよく耳にするようになり、1998年から2004年までの7年間に発生した異常気象は、国内だけで2,000件以上にのぼります。(気象庁発表資料より)

この異常気象を引き起こす原因とされるものの一つに『地球温暖化』があります。地球温暖化は、温室効果ガスが過剰に増加することによって、地球が暖かくなりすぎてしまい、気候のバランスが崩れてしまう現象です。温暖化が進むと自然災害をもたらすだけでなく、生態系の基盤を脅かすという深刻な問題を引き起こします。

地球温暖化というと、規模の大きい話

◆温暖化による悪影響

異常高温・海面上昇・台風の強大化・生態系への影響により希少な生物の絶滅・水資源などへの影響や水不足の発生・熱帯性感染症発生の増加・気温上昇による穀物生産の低下や食糧不足など

に感じますが、その影響は、とても身近なところに現れます。例えば、世界各地で干ばつや大雨などの異常気象により食糧不足になったら・・・特に食べ物の多くを海外に頼っている日本は、相当な影響がでるおそれがあります。

この温暖化の主な原因となっているのが、私たちの生活から排出される二酸化炭素という温室効果ガスです。日本は、世界で4番目に多く二酸化炭素を排出している、京都議定書では温室効果ガスを1990年と比べて6パーセント減らす約束をしています。

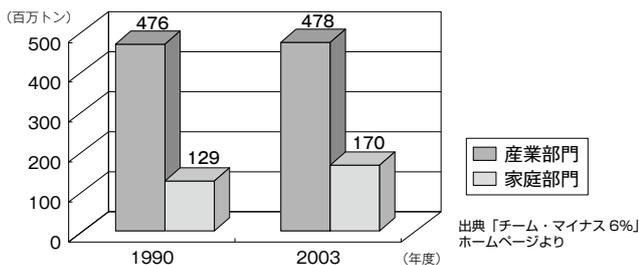
温暖化を防ぐには?

下の図のように、近年における二酸化炭素排出量の増加は、私たちの家庭生活が主な原因となっています。二酸化炭素は、ガスや灯油、電気や飲み水を作るとき、自動車を運転するときなどに排出されています。

私たち一人ひとりが温暖化について考え、生活様式を見つめ直し、環境のためにできることを積極的に行っていくことが大切です。



日本の産業部門と家庭部門における二酸化炭素排出量の比較



日本の産業部門と家庭部門における二酸化炭素排出量を1990年と2003年で比較すると、産業部門では200万トン増で、さほど変わりはありません。しかし、家庭部門では4,100万トンも増加しています。

京都議定書

1992年の地球サミットにおいて「先進国は温室効果ガスの排出量を2000年までに1990年レベルに戻す」と国連の気候変動枠組み条約で目標を立てました。しかし、努力目標だったため、多くの国が守りませんでした。(日本も逆に6.9%増となってしまいました)

そこで、条約を補おうと議定書をつくり、先進国に法的拘束力のある数値目標を課すことにしたのが、1997年12月11日、先進国全体で5.2%削減する「京都議定書」です。削減義務は日本6%、米国7%、欧州連合(EU)8%などで、削減の約束期間は2008年から2012年とし、対象は二酸化炭素やメタンなど6種類のガスとなっています。



特集

ACT 6 電気の使い方で減らそう

◇コンセントからこまめに抜こう

- ・電気製品を使用していなくても消費される待機電力の合計は、家庭の電力消費の7%にもなります。電源プラグはこまめにコンセントから抜きましょう。また、だれもいない部屋の電気を消したり、見ていないテレビは消しましょう。



ACT 5 買い物とごみで減らそう

◇過剰包装を断り、マイバックにしよう

- ・家に帰ると捨ててしまうレジ袋。作る時にも捨てる時にも二酸化炭素を排出しています。買い物には自分のバッグを持参し、過剰包装を断りましょう。



ACT 4 商品の選び方で減らそう

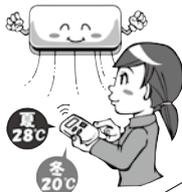
◇エコ製品を選んで買おう

- ・同じ性能でも省エネ設計のものを使えば二酸化炭素を減らすだけでなく、電気代も安くなります。電気製品を買うし替えるときはエコ製品を選ぶようにしましょう。

ACT 1 温度調節で減らそう

◇冷房の設定温度は28℃ 暖房時の室温は20℃にしよう!!

- ・冷暖房の使用を1℃控えるだけで、大きな削減効果になります。



ACT 2 水道の使い方で減らそう

◇蛇口はこまめに閉めよう

- ・シャワーを1分間出しっぱなしにすると、なんと10リットルに！ガスや電気を使ってわざわざお湯にしたものを、どんどん捨てているのです。



ACT 3 自動車の使い方で減らそう

◇エコドライブをしよう

- ・停車中にエンジンをかけっぱなしにしているとガソリンをムダにして二酸化炭素を排出していることになります。停車中はできるだけエンジンを止めましょう。

あなたの
できることから
始めよう!!

環境フェア 2008



環境にやさしい生活について考え、行動してみませんか。子どもから大人までが楽しめる企画がいっぱいです。皆様のご来場をお待ちしています。

とき 7月27日(日) 午前10時～午後2時

ところ 石巻文化センター

主な内容 リサイクル自転車などが当たる抽選会・もったいない市(フリーマーケット)・スタンプラリー(景品あり)・環境保全団体による研究活動の発表など

環境対策課(内線553)

地球温暖化防止活動に携わって

地球温暖化防止のために、さまざまな活動を積極的に進めている太田さんにお話を伺いました。



県地球温暖化防止活動推進員
太田 美智子 さん
(大街道)



▲太田さん宅のコンセント「テレビ」という表示をつけるのがわかりやすい

石巻は自然が豊かなところなので、ここ数年の自然環境の変化を市民の皆様は少なからず感じていて、温暖化問題についても、身近に感じていると思います。温暖化防止対策は、何から始めた方がいいのか分からないという方が多いと思いますが、自分ですることから始めてみることを無理なく、楽しく行うことが、その後の行動に広がりができます。最近では、省エネタイプの電化製品やエコグッズが多く見受けられるようになりまし。これらを上手に利用していくことも、温暖化防止につながります。例えば、テレビなどのコンセントをこまめに切るということですが、スイッチ式コンセントにすると、簡単に切ることができ、待機電力の削減になります。今後は、特に未来を担う子どもたちを対象として、子どもの目線に立った環境を考える活動に取り組んでいきたいと思っています。